

教材教具名 片仮名学習プリント	教科(国語)	
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい かたかなの読み書きが確実にできるようになり、生活にいかすことができる力を育てる。</p> <p>2 発達段階 「文章表現を獲得する時期」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなは促音・長音・拗音などほぼ確実に書くことができる。</li> <li>・かたかなは書くことができるが促音・拗音・長音は苦手である。</li> <li>・小学校低学年程度の漢字はほぼ読み書きできる。</li> </ul> <p>3 使い方 (1) 絵を見て物の名前を理解する。 (2) 物の名前をかたかなにする。 促音・拗音・長音に注意して書く。 応用として習ったかたかなを使って日記などを書くことに発展させる。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>物を絵で表してあるので取り組みやすいのか、「かたかなのプリントをやりたい」と意思表示することが多い。</p> <p>四角の枠の中に書いていくので、文字数が決まっており、書いたあとで文字数の過不足がわかりやすくなっている。自分でも間違いがわかるようになっている。</p> <p>苦手な促音・長音・拗音などのプリントなので一度目で、できない問題もあるので繰り返し学習することが大切である。</p> <p>宿題としても取り組んでいる。</p>		